

健康経営宣言

京都工場保健会は「人々の健康を通じて、人類の福祉に貢献する」を経営理念とし、「健康で、生き生きと働き続けることができる社会、組織」を目指します。職員のワーク・ライフバランスが実現してこそ、より良い保健医療及び環境保健サービスを提供することが可能になり、社会貢献につながると考えます。経営戦略として職員の健康の保持増進に積極的に努めていきます。

実施体制

専務理事を委員長とする健康経営推進委員会を設置。委員会は各部門より選出されたメンバーと産業医、保健師、衛生管理者にて構成。委員会において施策の立案・実施・評価を行う。進捗状況は役員会に報告し有効性の確認を行う。

目標値の設定

下記5項目を重点項目とし、2018年度時点での目標を定め、各施策を推進する。

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2018年
		実績	実績	実績	実績	実績	目標
肥満	男	20.3%	24.2%	22.0%	21.9%	19.9%	18%
	女	8.8%	8.9%	8.3%	8.2%	8.6%	8%
血压		5.0%	6.6%	5.1%	4.9%	5.5%	5%
脂質		26.0%	23.8%	26.5%	26.0%	26.7%	23%
血糖		10.7%	8.1%	8.4%	10.4%	10.4%	8%
喫煙率		14.0%	13.4%	11.9%	13.3%	11.6%	10%

*肥満：BMI25以上、血压：収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上
脂質：中性脂肪200mg/dl以上、HDL39mg/dl以下、LDL140mg/dl以上のいずれか1つ該当、
血糖値：110mg/dl以上またはHbA1c6.0%以上

健康増進の取組

定期健康診断後の精密検査の受診率100%を目標に3年前より受診勧奨を徹底してきた結果、2015年度は受診率が86.6%となった。従来より35歳以上の職員には人間ドックでの健診を義務付けている。また、女性のがん検診にも力を入れており、定期健診時に無料(事業所負担)で女性のがん検診が受けられる。乳がん検診70.2%、子宮頸がん検診54.6%の受検率となっており、がんの早期発見につなげている。

腰痛予防対策として、腰痛のメカニズムや腰痛予防体操の研修を全職員対象に実施。その後、各部署に推進者を選定し『美ポジ体操』『これだけ体操』を定時的に実施し、腰痛予防を図っている。